

ラスベガス銃撃：ニセ旗、心理作戦、注意をそらす

ブラック作戦（後半）

カタロニア国民投票の成功から注意をそらす必要

NWO 陰謀団が、カタロニアの独立を求める圧倒的な投票のような、歴史的出来事についてのインターネットの話題を、急いで変える必要を感じるときは、必ず、彼らは反射的に、世界のどこかでテロ攻撃を行う。

まず、この国民投票が、人民のなまの政治的権力行使という観点から、いかに大きなものであったかを理解することが、決定的に重要である。市民の 89%が、カタロニアのスペインからの離脱を決めただけでなく、彼らは、マドリッドの内務省から出された過酷な脅迫の下で、投票を行っている。結果は賛成：カタロニア人の 89%が独立に投票だった。

<http://themillenniumreport.com/2017/10/the-results-are-in-89-of-catalans-vote-for-independence/>

カタロニアの人々は、公的にそう呼ばれている「スペイン王国」から出ることを望んでいる。しかしスペイン政府は、カタロニア人を自分の国家にとどめおくことを、どこよりも必死に願っている。それには多くの理由があり、この論文で扱える範囲を超えている。これらの理由は、ついでながら、非常に深刻な生死にかかわる危機に触れるもので、この国民投票によってそれは悪化し、危険なものになっている。

さらには、進行中の EU（ヨーロッパ連合）問題がある。このカタロニア人の独立へのイエス投票は、実は EU の未来にかかわるものであり、自分たちの超国家を、圧政的・全体主義的な超国家存在として正しく受け止める、すべてのヨーロッパ人の、解放の炎を掻き立てる働きをするだろう。「EU の正体：ヨーロッパを破壊するための、計画された全体主義的超国家」 <http://stateofthenation2012.com/?p=40678>

したがって、なぜ、ブリュッセルのグローバリストたちが、重大で劇的な投票プロセスを通じてカタロニアに当てられていたスポットライトを、別のところへ移さねばならなかったのか、その理由が容易くわかるであろう。マドリッド政府が、合法的な投票を妨げる試みに、

きわめて強い意志を持っていただけでなく、彼らは人民に対してかつてなかった犯罪を行い、これはスペインにも、ヨーロッパにも、世界全体にショックを与えた。

時の権力は、なぜベガスのカントリー・ミュージック会場を虐殺に選んだのか？

彼らがこの大流血事件を起こすのに、なぜこの特定の場所を選んだのか、多くの理由がある。

ビデオ：「ラスベガス銃撃：カメラに捕らえられた恐ろしいフィルム」

<http://stateofthenation2012.com/?p=85195>

常にそうだが、グローバリストは、すべてのアメリカ市民から銃を取り上げようとしている。武装したアメリカ人は、彼らの計画する **One World Government** の建設にとって、唯一最大の障害物である。

パワー・エリートにとって、それよりもっと気がかりなのは、“グローバルな経済と財政システム”の解体の**前に**、民衆を武装解除しなければならないことである。インターネット上に日常的にばら撒かれている、なまの真実がある以上、彼らは、富裕なエリート層が、あらゆる愛国者、国家主義者、および軍関係者から狙われるだろうことを、よく知っている。NWO 陰謀団による、アメリカの未来の完全な略取に関する真実が、そこらにいくらかでも出回っているだけでなく、誰でも、この数十年の犯罪騒ぎの、本当の責任者が誰かを見つけようとする者は、簡単にネット・サーフィンをすることができる。

もちろん、**多くの**無邪気な、カントリー・ミュージック・ファンは、保守派、キリスト教徒、愛国者、ナショナリスト、トランプ党、ティーパーティー派の傾向が強く、彼らを恐怖で抑え込むことは、銃規制に向かって彼らを動かす試みである。グローバリストの思い違いは、もし「全米ライフル協会」会員やハンターが、このベガスの、**複数の狙撃手によって犯された**、比類のない殺戮に、これほど青くなるのであれば、彼らは何らかの、**彼ら自身の保護のための**、効力ある銃規制を要求するだろうと思ったことだった。

キーポイント：このラスベガス銃撃について、いつまでも記憶されるであろうことは、コンサート会場を通じて鳴り響く高速発射音であろう。インターネット上のあらゆるビデオが、マンダレー・ベイ・ホテルの前の自動発射音のスタッカートを捕らえた。明らかに、この側面は意図的に考えられたもので、議会が直ちに、すべての似た攻撃兵器や弾薬の没収を、法制化するためであろう。グローバリストは繰り返し、**彼ら自身のために**、街路から軍隊向きの兵器を失くそうとしてきた。彼らは、我々が彼らを捕まえに——すぐにも——やってくることを知っている。

それに、常に“政治的に正しくない”愛国主義運動を処罰するという意図もある。このような恐ろしい惨劇を、カントリー・ミュージックの場に持ち込むということは、犯人たちはこの口に言えない地獄絵を、いつでも、どこでも、田舎の似たような音楽環境において、繰り返すことができるという、明らかなメッセージを伝えるものである。

この戦術には更に、NATOの“グラディオ作戦”から直接きているものがある。この進行中の“緊張の戦術”は、市民にテロの恐怖を与え、特定の結果を得るために、何十年もヨーロッパで組織的に行われてきたものである。「NATO 秘密軍、Operation Gladio、および緊張の戦術」<http://themillenniumreport.com/2017/04/natos-secret-armies-operation-gladio-and-the-strategy-of-tension/>

政府の統制するニセ旗は、今は合法的

FEDs (連邦捜査官) は、これほど多くのアメリカ人民の顔そのものへの攻撃をやっておいて、どうやって逃れるつもりだろうか？

これらの極端に暴力的な大量殺傷事件は、実は、オバマ政権のもとで攻撃的に押し通された、NDAA 法 (National Defense Authorization Act、国家防衛権利保持法?) の最も新しいバージョンによって、“合法的”になった。

そう、この犯罪的な連邦政策は、完全に狂っていると思えるだろう。その通り狂っている。しかしそれはまた、議会を通過し、オバマの署名によって法制化されて、法の殿堂に祭られている。次のように：——

「“ニセ旗”は、防衛省によって案出された法的なプロパガンダである」

<http://stateofthenation2012.com/?p=29475>

とめどもなく起こる大量射殺や爆弾殺人は、この根本的に反憲法の、不法な、連邦成文法の直接の結果である。そして、それを知っている者はほとんどいない！

陰の政府が、偽コインの両面をコントロールしている

ヤラセの「シャーロットビル暴動」が国家に示したことは、影の政府が、アメリカの政治的スペクトルの両端を、真ん中の多くを含めて、完全に支配しているということである。Steve Scalise 銃撃事件もまた、グローバリストたちは、本物の保守主義者を倒すためには、右翼のバカを使うことも辞さないことを証明した。

いま我々は、ラスベガスにおいて、同じパターンの、明らかにアンティファ狂信者が、内乱を触発するのに利用されているのを見ている。射撃犯人と言われるスティーブン・パドックのホテルの部屋は、次のように注意深くセットされているようだ：——

<http://stateofthenation2012.com/?p=85233>

このベガスの殺戮は、保守派とリベラルの間の敵意に火をつけるように、巧みに計算された、心理作戦である。したがって困難は、NWO 犯行者たちのトレードマークである、二枚舌と裏切りを相手にしなければならないことだ。影の政府は、誰をも、どんな政党をも信用しない。彼らは、深層国家すべてに行きわたっている、彼らのエージェントを使って、どんな犯罪でも、米政府や“我々人民”を支配するのに必要な犯罪を、実行させている。話はそこで終わる！ したがって、犠牲者である人民に必要なことは、これら深層国家のエージェントを十分に怖がらせて、彼らのイルミナティの殿様よりも、アメリカが怖いと思わせることである。

結論

このラスベガス心理作戦がこの先、展開していくにつれて、他の目標が明らかになってくるだろう。

これほど多くの人々が、明らかに殺傷されたという事実そのものが、これが古典的なブラック作戦だったこと、すなわち、CIA が FBI と地方警察と緊密に協力して行った犯罪だったことを、明らかにしている。

大量殺傷事件が、これほど速やかに、単独犯の大量殺人と分析されるときには——これほど多くの人間をこれほど速やかに撃つことは不可能なはずだ——いつでも、アメリカ情報局共同体が、明らかに見せ物すべての背後にいる。

著者ノート：

次のビデオは、少なくとも一人の人物が、ラスベガスのこの悲劇的大量虐殺について、あらかじめ知っていたことを明らかにしている。彼女はどのように知ったのか？ 彼女は誰で、どこにいるのか？ そして、なぜ官憲が彼女を、こんなに速やかに締め出したのか？！

ビデオ：「謎の女性が、殺戮 45 分前にラスベガス・コンサートに行く人に警告：多くの人がやがて死ぬ」 <http://stateofthenation2012.com/?p=85184>

